

**「天の国の婚宴への招待」**  
**マタイによる福音書 22 章 1-14 節**

2022.3.6

●**アウトライン**

1. 天の国の婚宴への招待

- ・今日のたとえ話の「天の国」と何か。
- ・王→神、王子→イエス・キリスト、婚宴→終末における神の国の祝宴
- ・神の招きを軽んじる私たち人間への警告
- ・「一人は畑に、一人は商売に出かけ」
- ・神は天の国の婚宴へと私たちを招いておられる。
- ・「いつか、いつか」ではなく「今この時に」

2. キリストの義の衣をまとして

- ・神の救いの歴史から考えると、前半の招待客→イスラエルの民、後半の招待客→すべての人々
- ・婚宴から追い出される一人の人
- ・「礼服」は何を表しているのか。
- ・イエス・キリストへの信仰によって与えられるキリストの義の衣は、すでに用意されている。

●**聖書箇所**

**【イザヤ書 61 章 10 節、旧約聖書 1162 ページ】**

「わたしは主によって喜び楽しみ／わたしの魂はわたしの神にあって喜び躍る。主は救いの衣をわたしに着せ／恵みの晴れ着をまとわせてくださる。」

**【ガラテヤの信徒への手紙 3 章 26-27 節、新約聖書 346-347 ページ】**

「あなたがたは皆、信仰により、キリスト・イエスに結ばれて神の子なのです。洗礼を受けてキリストに結ばれたあなたがたは皆、キリストを着ているからです。」

**【コリントの信徒への手紙二 6 章 1-2 節、新約聖書 331 ページ】**

「わたしたちはまた、神の協力者としてあなたがたに勧めます。神からいただいた恵みを無駄にしてはいけません。なぜなら、／『恵みの時に、わたしはあなたの願いを聞き入れた。救いの日に、わたしはあなたを助けた』と神は言っておられるからです。今や、恵みの時、今こそ、救いの日。」